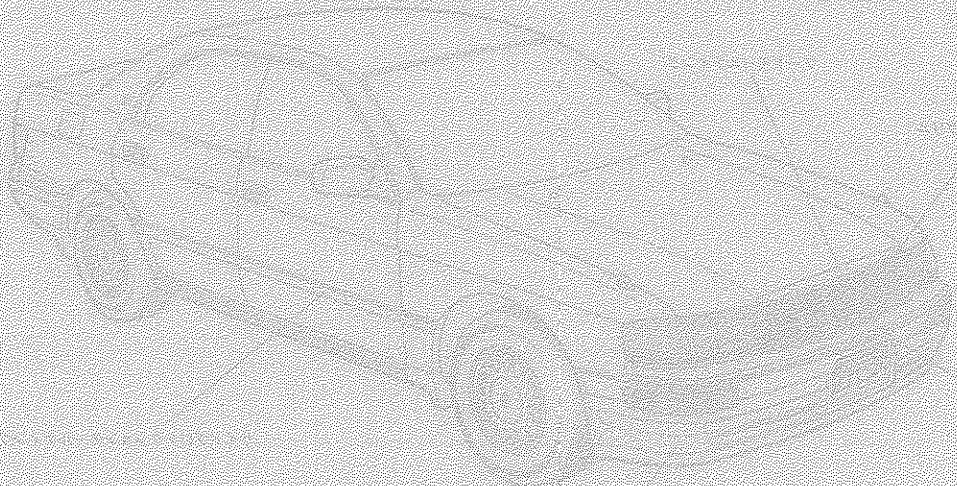


5 ボデー

5・1	ボデー外装・本体	5-2
	ボデー外装部品	5-2
	塗装	5-3
	ボデーシェル	5-4
5・2	ボデー内装	5-5
	運転席パネル	5-5
	シート	5-5
	トリム & ガーニッシュ	5-8
5・3	ボデー機能部品	5-9
	ウインドウレギュレーター	5-9
	ドアロック	5-9



5・1

ボデー外装・本体

■概 要

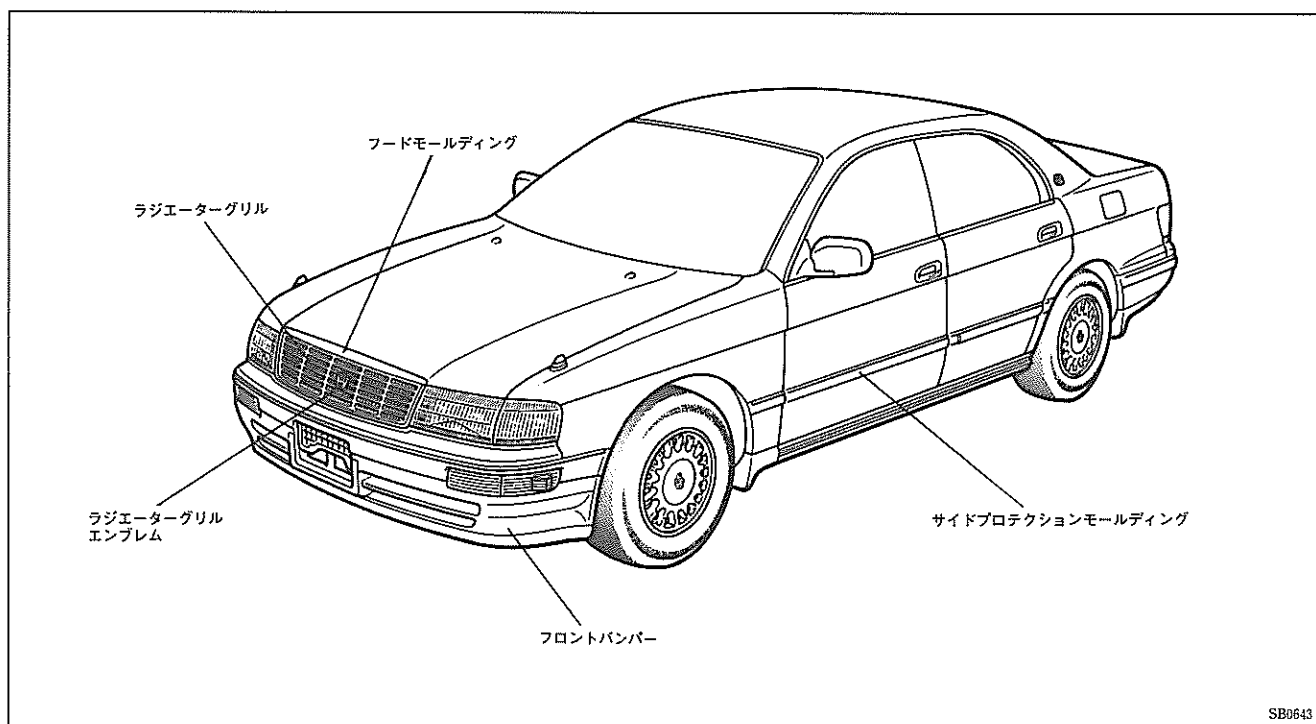
フロント回りは、ラジエーターグリルおよびフロントバンパーなどの外観意匠変更、リヤ回りは、ボデー後部のボデーパネルおよびボデー外装部品などを変更して、ワイド感のある外観としました。また、クラウン伝統の王冠をデザインしたクォータービラーマークの新設定などにより、より一層クラウンらしい風格のあるものとしました。なお、外板色も一部変更しました。

■機構説明

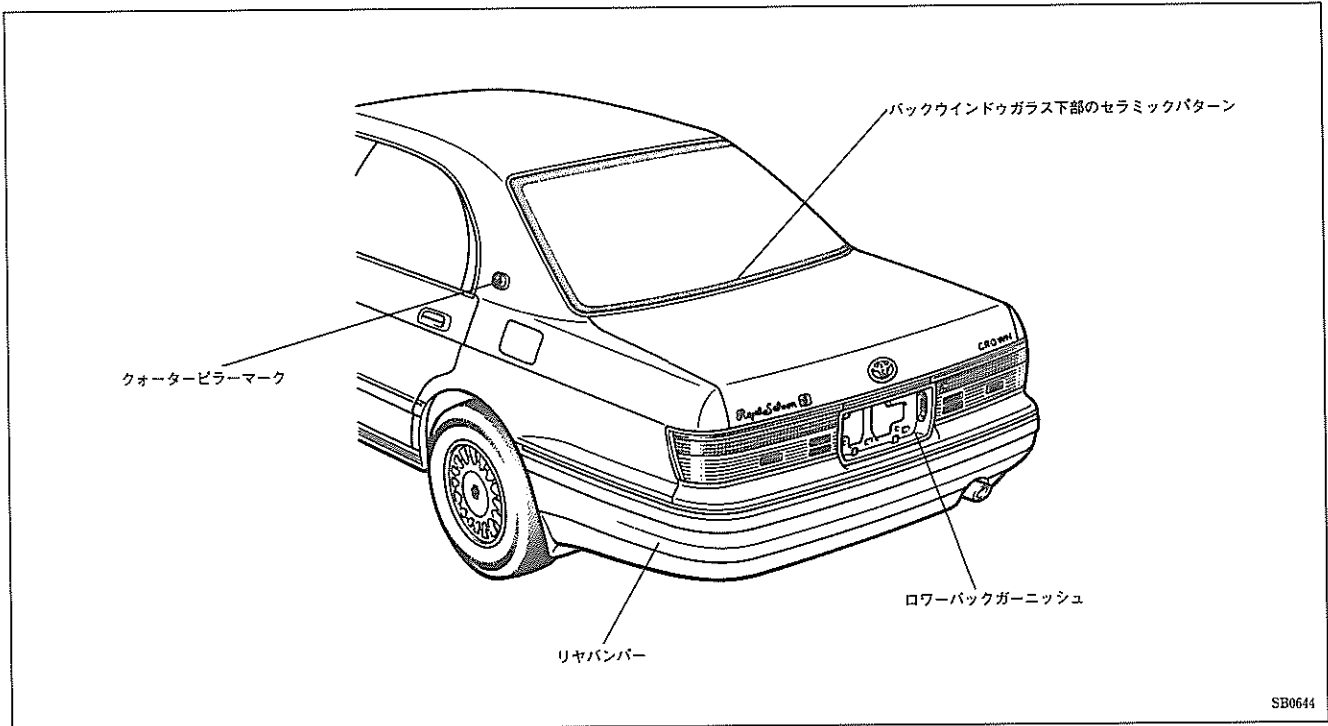
□ボデー外装部品

1. ボデー外装部品

- ラジエーターグリルは、グリルメッシュを細かな格子とし全体を角張った形状に変更して、落ち着いた外観意匠としました。また、フードモールディングは、ラジエーターグリルおよびフードと一体感を持たせ、厚みのある外観意匠により高級感のあるものとしました。
- ラジエーターグリルエンブレムは塗色を濃色化して、王冠マークを強調した外観意匠に変更しました。
- フロントおよびリヤバンパーはメリハリのある形状に変更するとともに、バンパーカバー上部にはサイドプロテクションモールディングと同様の断面形状を持たせ、サイドプロテクションモールディングと連続感のある外観意匠としました。なお、フロントバンパーは、バンパーカバーにライセンスプレートガーニッシュを一体化しました。
- サイドプロテクションモールディングは、厚みのあるものに変更して存在感を持たせ、フロントバンパーからリヤバンパーまで連続感のある意匠とし、ボデー下部を伸びやかで引き締まったものとしました。
- クォータービラー部に、クラウン伝統の王冠をデザインしたクォータービラーマークを設定し、サイド回りを引き締まったものとしました。
- ロワーバックガーニッシュは、ライセンスプレートの取り付け位置変更に伴い、リヤコンビネーションランプと一体感のある外観意匠とするとともに、めっきを施し高級感のあるものとしました。
- バックウインドウガラス下部のセラミックパターン幅を縮小しました。



SB0643



□塗装

1. 外板色

- モノトーンカラーのスーパーホワイトⅣ（050）およびブルーイッシュグレーメタリック（182）を色調変更し、スーパーホワイトⅡ（040）およびダークブルーイッシュグレーメタリック（183）を新設定しました。
- ツートーンカラーの新色としてダークフォレストトーン（25V）を追加設定するとともに、ダークグリーンメタリック（6K2）およびダークターコイズマイカ（742）の2色を廃止しました。これにより、外板色は全7色設定としました。

仕様

●：標準 ○：オプション

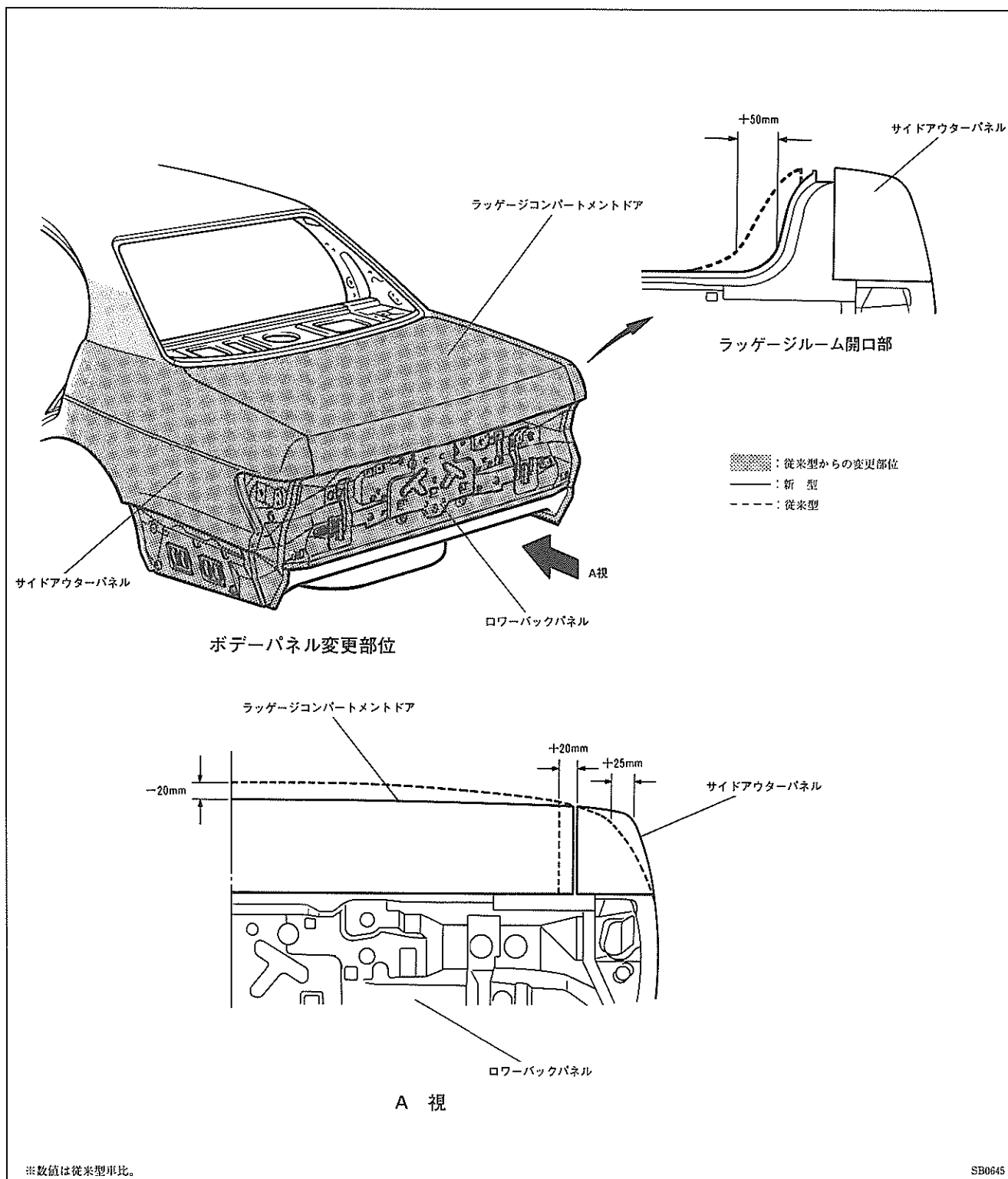
カラーネーム	グレード カラーNo.	スーパー セレクト	スーパー サルーン エクストラ	ロイヤル サルーン	ロイヤル ツーリングS	ロイヤル ツーリング	ロイヤル サルーンG	備 考
スーパーホワイトⅡ	040	●	●	●	●	●	●	新色
ウォームグレー パールマイカ	046	○*	○*	○	○	○	○	継続色, パールマイカ カラー
ダークブルーイッシュ グレーメタリック	183	●	●	●	●	●	●	新色
ブラック	202	●	●	●	●	●	●	継続色
ダークブルーマイカ フタロシアニン	8J5	○	○	○	○	○	○	継続色, フタロシアニン フレークカラー
ダークフォレスト トーン	25V (742/182)	○	○	○	○	○	○	新色, ツートーン カラー
シルキーエレガント トーンⅡ	29T (046/178)	○*	○*	○	○	○	○	継続色, ツートーン カラー

*：除く2L-TEエンジン搭載車。

□ボデーシェル

1. ボデーシェル

- サイドアウターパネル（クォーターピラーより後部）、ローワーバックパネルおよびラゲージコンパートメントドアの形状を変更しました。
- サイドアウターパネルは、車両後端コーナー部で従来型に比べ約25mm幅を拡大して、ワイド感のある外観意匠としました。
- ラゲージコンパートメントドアは、後端部で従来型に比べ約20mm（車両中央部）低くし、横幅も約40mm拡大しました。
- ラゲージジルーム開口部を従来型に比べ約100mm拡大することにより、荷物の積載時などの使用性の向上をはかりました。



5・2

ボデー内装

■概要

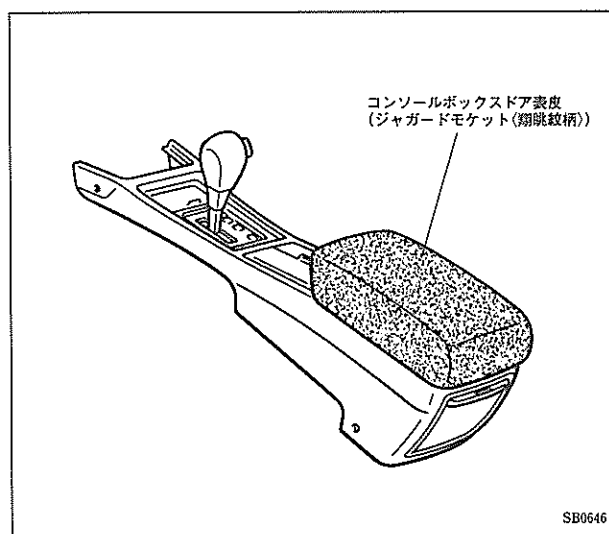
シート、コンソールボックスドアおよびドアトリムオーナメントの各表皮を変更し、品質感の向上をはかりました。また、ラチェット式のフロントシートヘッドレストの採用やフロントシートアジャスターのリヤバーチカルストロークの拡大など、細部にわたって改良し、より使用性に優れた室内としました。

■機構説明

□運転席パネル

1. コンソールボックス

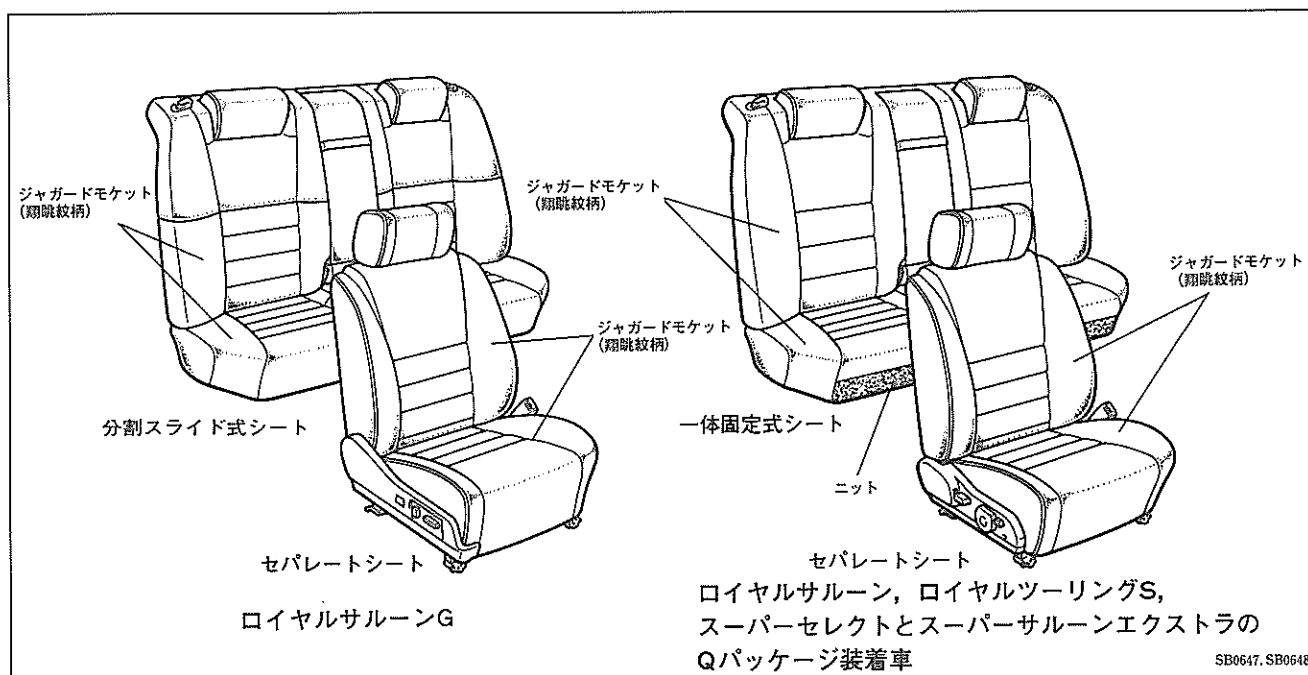
- シート表皮の変更に伴い、コンソールボックスドア表皮を変更して室内のコーディネートをはかりました。(ロイヤルサルーン以上<除くロイヤルツーリング>およびスーパーセレクトとスーパーサルーンエクストラのQパッケージ装着車)



□シート

1. シートバリエーション

- シート表皮を豹跳紋柄のジャガードモケットに変更し、品質感の向上をはかりました。(ロイヤルサルーン以上<除くロイヤルツーリング>およびスーパーセレクトとスーパーサルーンエクストラのQパッケージ装着車)



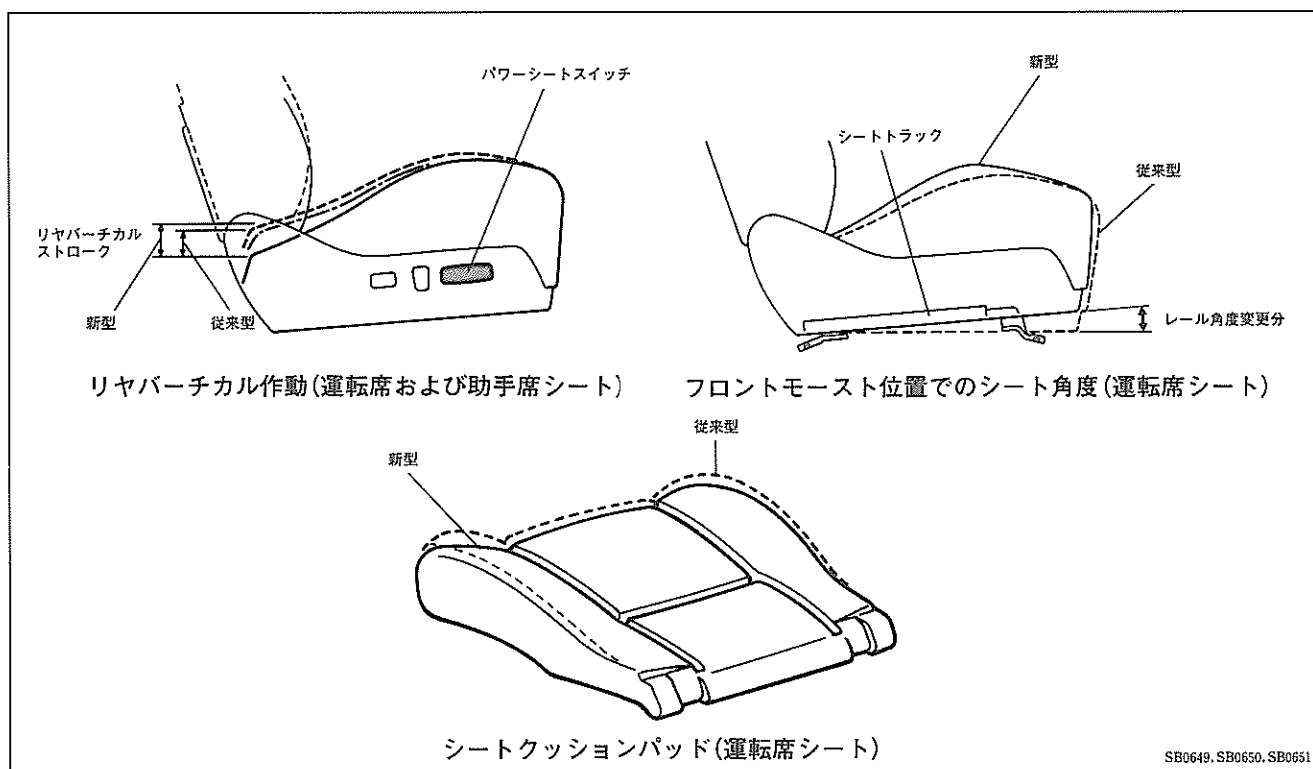
2. フロントシート

- フロントシートヘッドレストの前後調節機構を従来のダイヤル式からラチェット式に変更し、使用性の向上をはかりました。
- フロントシートアジャスターのリヤバーチカルストロークをアップ側に拡大し、使用性の向上をはかりました。(パワーシート装着車)
- シートバックアシストグリップの形状を変更しました。

▶構造と作動

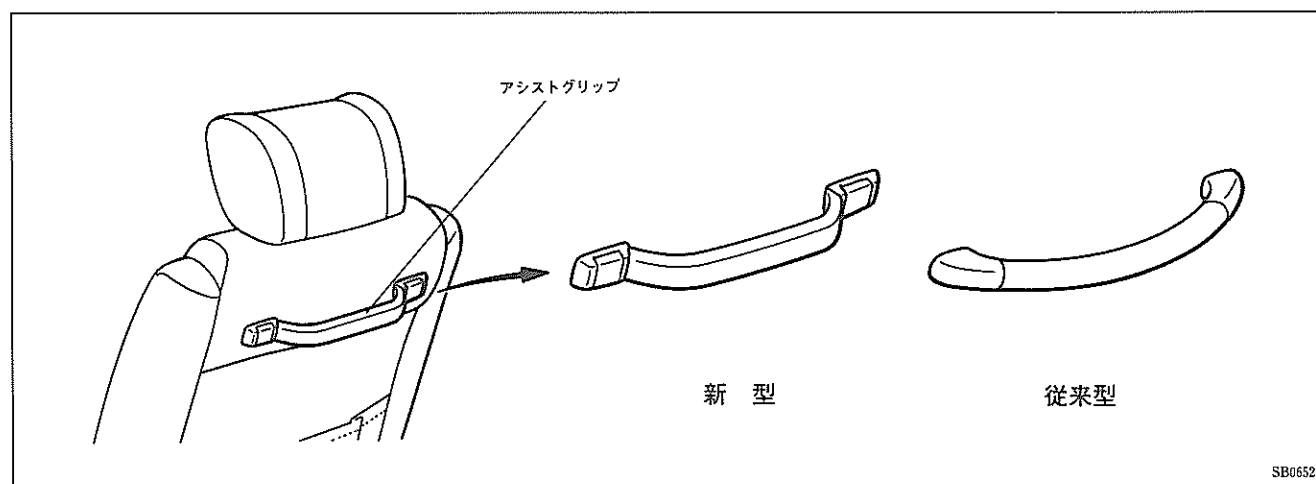
【1】フロントシート（パワーシート装着車）

運転席および助手席シートアジャスターのリヤバーチカルストロークをアップ側に拡大しました。また、運転席シートは、シートトラックのレール角度を変更して使用性の向上をはかるとともにシートクッションパッドの形状を変更し、従来と同様の乗降性を確保しました。



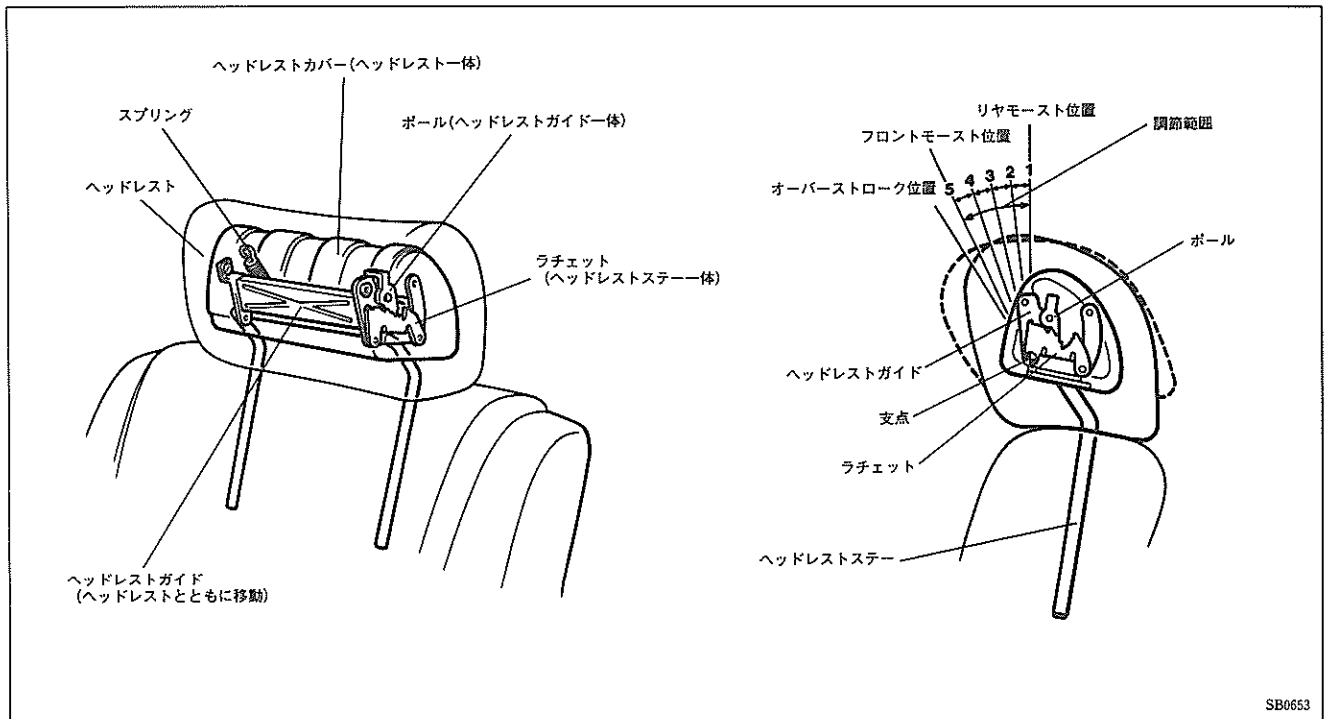
【2】シートバックアシストグリップ

シートバック後部に設けたアシストグリップの形状を変更しました。



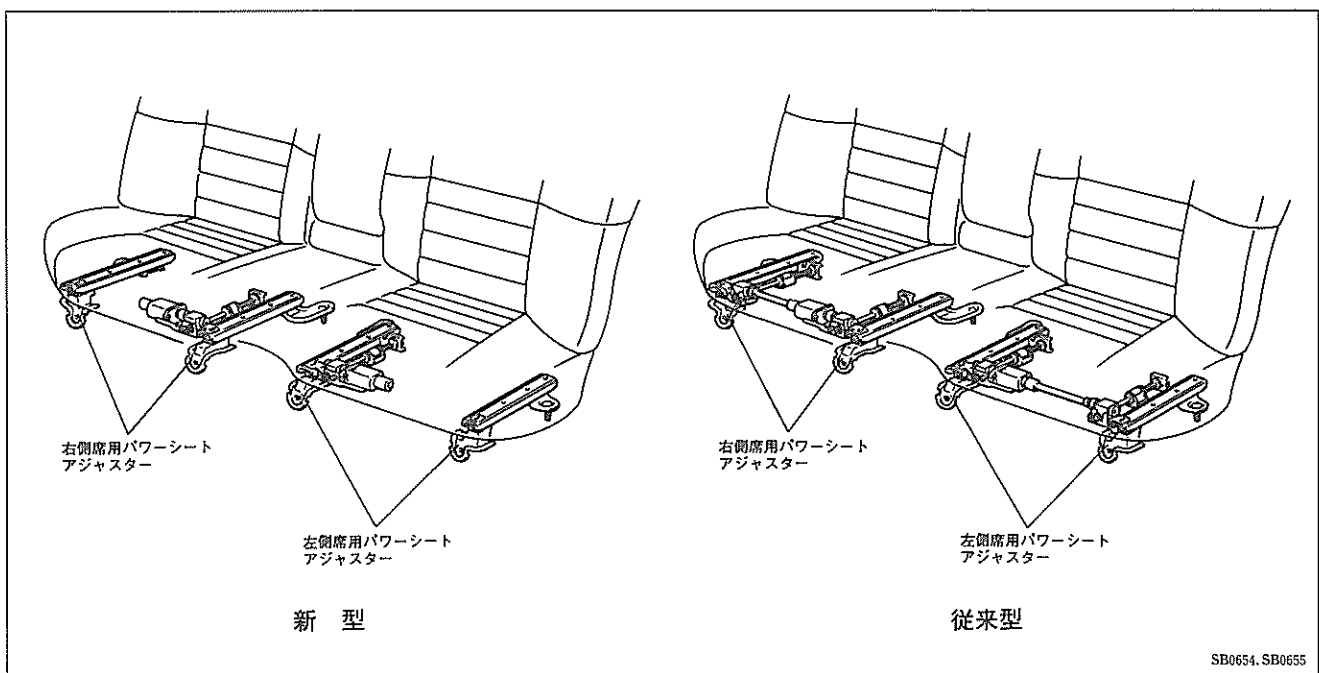
【3】フロントシートヘッドレスト

- ・前後調節機構には、ヘッドレストを前方に動かすことにより5段階に角度調節することができるラチェット式を採用しました。
- ・前後調節角度は、ラチェットのツメ（ヘッドレストステーと一体のため固定）とボールのツメ（ヘッドレストガイドと一体のためヘッドレストとともに移動）がかみ合うことにより設定されます。なお、フロントモースト位置を越え、オーバーストローク位置までヘッドレストを動かすとツメがはずれ、スプリングによりリヤモースト位置まで戻され、再度角度調節が可能となります。



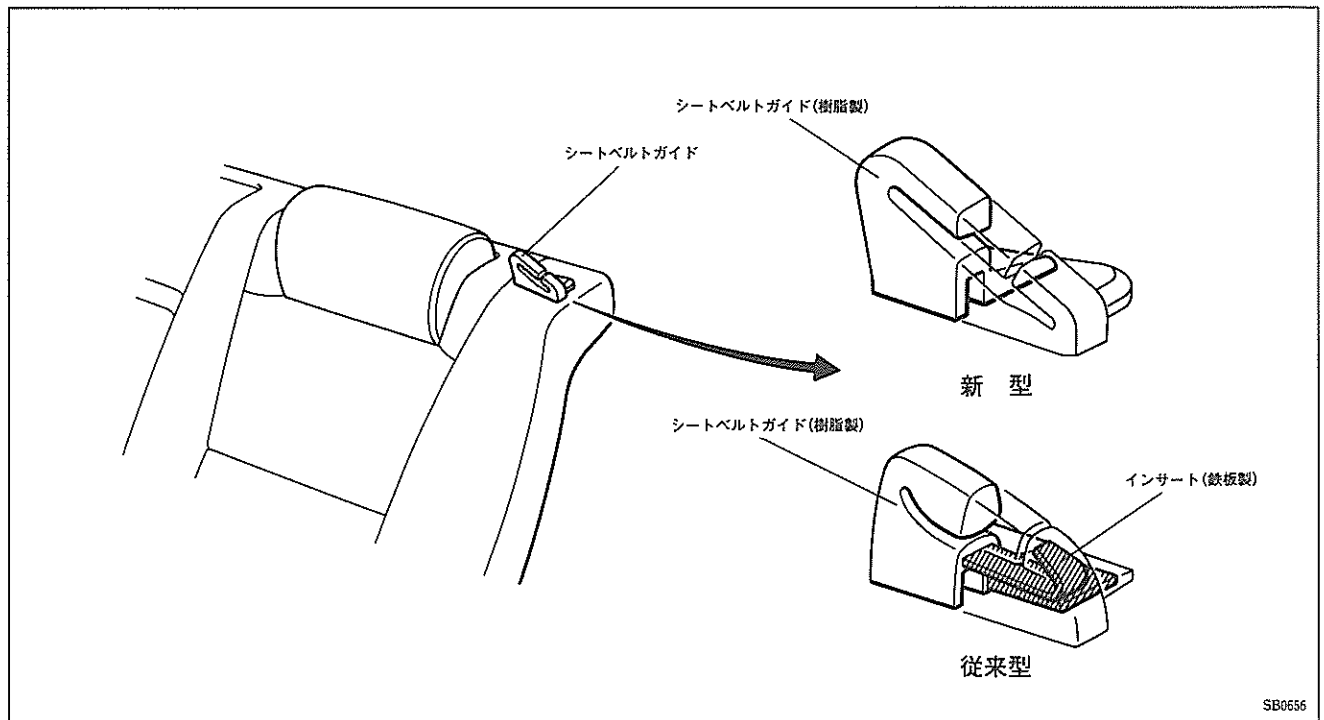
3. リヤシート

- ロイヤルサルーンGのパワーシートアジャスターを変更しました。なお、基本的な作動は従来と同様です。



4. シートベルト

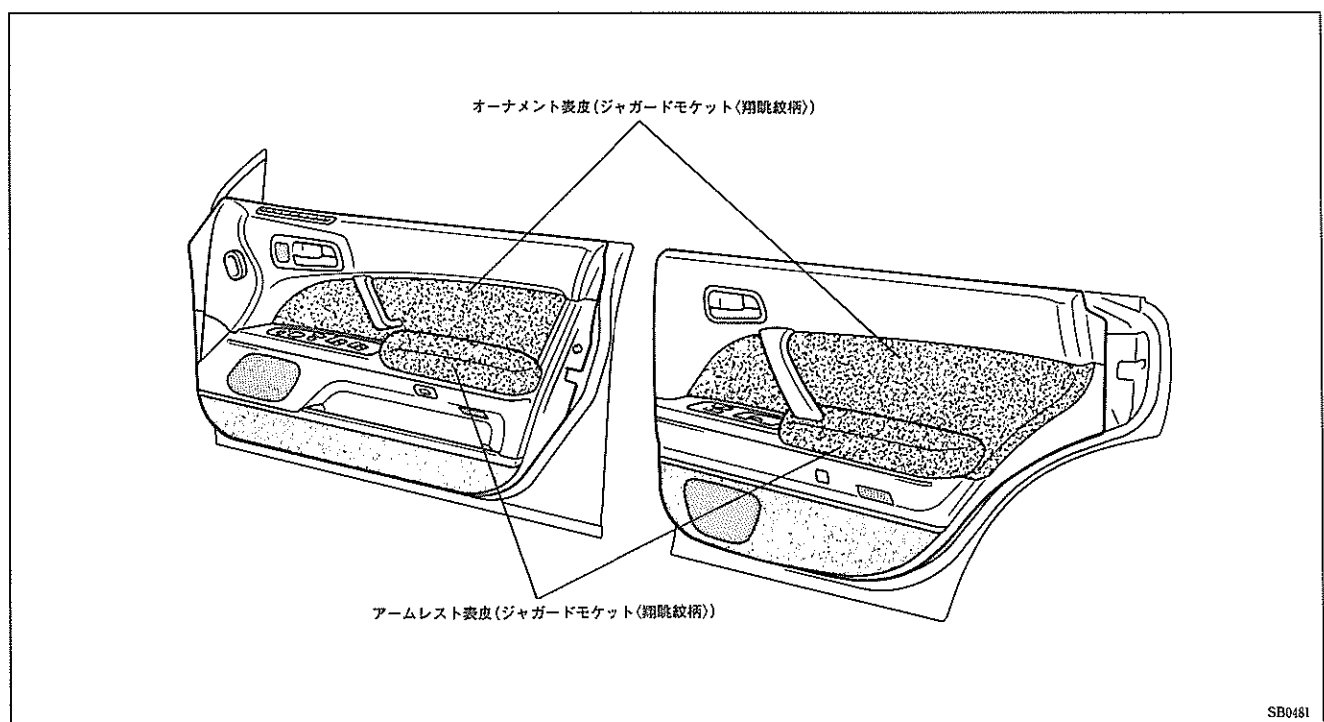
- シートベルトガイドは、鉄板製のインサートを廃止して軽量化をはかるとともに、意匠を変更しました。
- フロントシートベルトを約100mm短くしました。



□トリム & ガーニッシュ

1. ドアトリム

- シート表皮の変更に伴い、オーナメント表皮およびアームレスト表皮を変更し、室内のコーディネートをはかりました。(ロイヤルサルーン以上<除くロイヤルツーリング>およびスーパーセレクトとスーパーサルーンエクストラのQパッケージ装着車)



5・3

ボデー機能部品

■概要

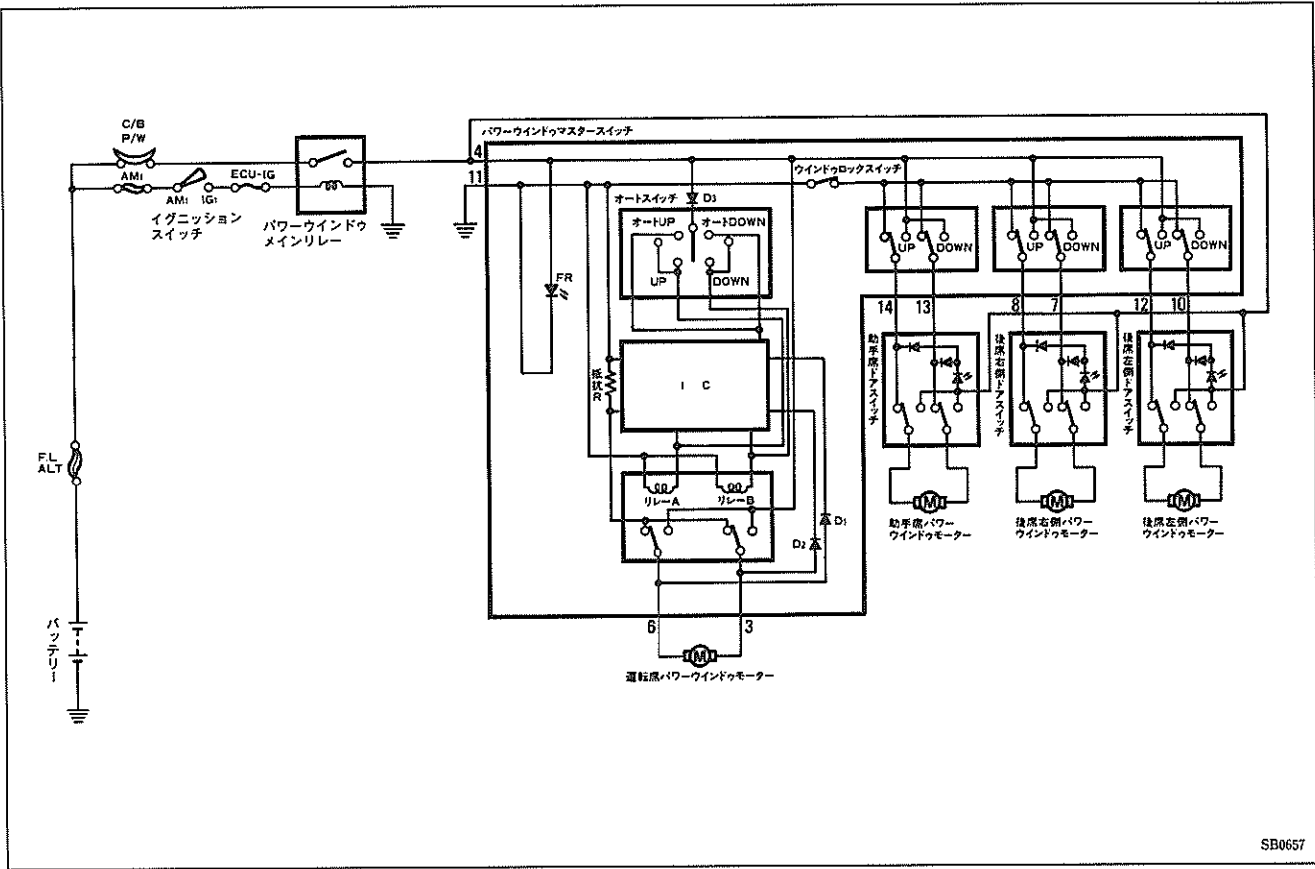
ワイヤレスドアロックリモートコントロールの機能をROMボード方式から登録方式に変更し、便利性の向上をはかりました。

■機構説明

□ウインドウレギュレーター

1. パワーウィンドウ

●パワーウィンドウのキーOFF作動機能を廃止しました。なお、その他の機能および構造と作動は従来と同様です。



SB0657

□ドアロック

1. ドアロック

●ワイヤレスドアロックリモートコントロールのレシーバー側識別コードをROMに登録する方式に変更し、トランスミッター交換時のROMボード交換を不要としました。なお、ワイヤレスドアロックリモートコントロールは従来と同様、ロイヤルサルーン以上に標準設定しました。

●ワイヤレスドアロックリモートコントロールにオートパワーOFF機能を採用し、トランスミッターバッテリー（電池）の消耗を低減しました。

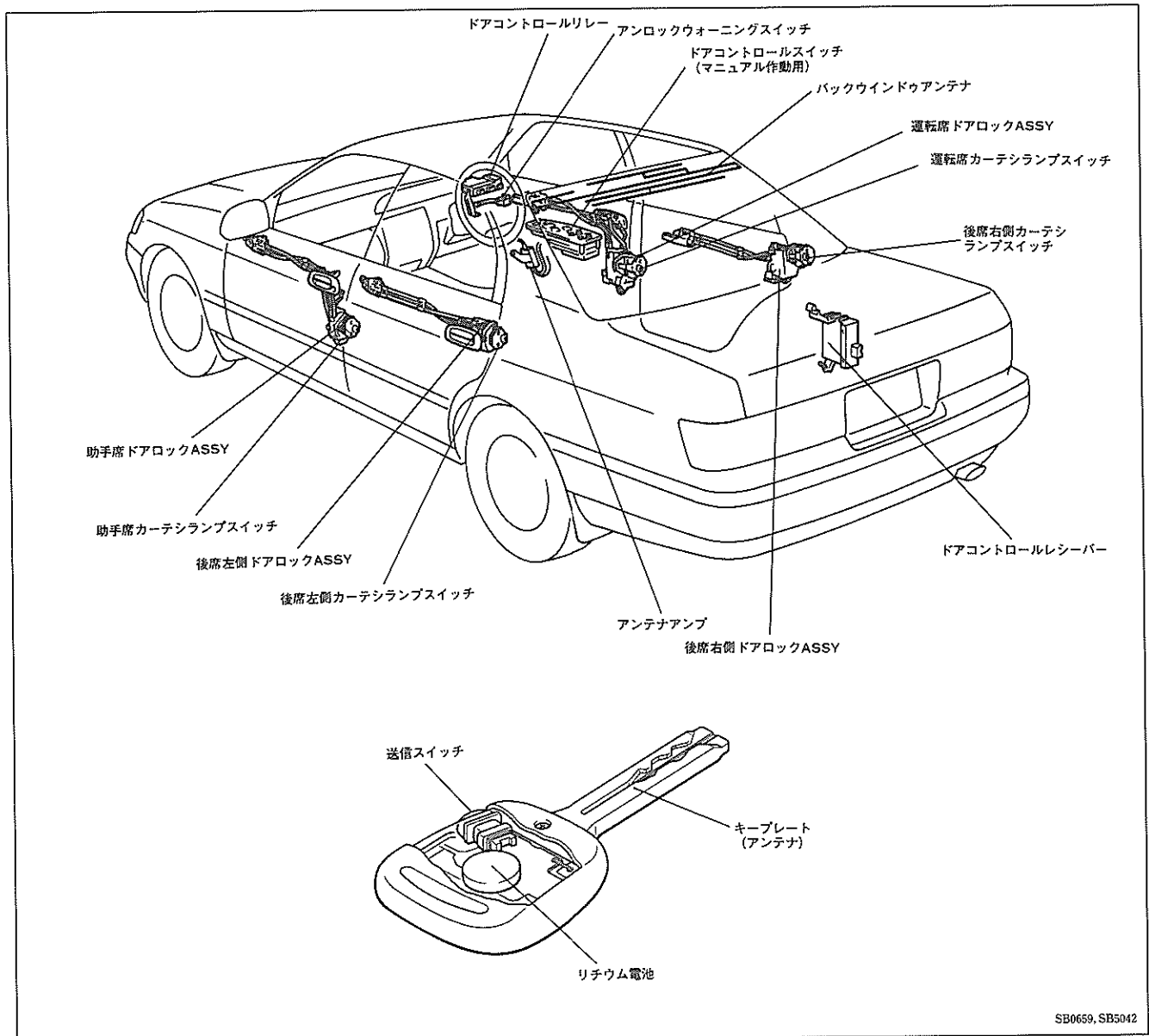
▶構造と作動

【1】ワイヤレスドアロックリモートコントロール

トランスミッターの識別コードとレシーバー側ROMボードの識別コードが1対1で対応するROMボード方式から、トランスミッターの識別コードがレシーバー側ROMに登録したトランスミッターの識別コードと対応する登録方式に変更しました。

〔2〕 構成

ワイヤレスドアロックリモートコントロールは従来と同様、トランスミッター、ドアコントロールリレー、ドアコントロールレシーバーおよびドアロックASSYなどで構成しています。なお、メインスイッチは廃止しました。



SB0659, SB5042

〔3〕 作動

(1) 識別コード登録方法

- ① 運転席ドア開 (運転席カーテシランプスイッチ ON), 他席ドア閉 (カーテシランプスイッチ OFF), 運転席ドアロックをアンロック (運転席ポジションスイッチ ON) およびキープレートがイグニッションキーシリンダーに差し込まれていない (アンロックウォーニングスイッチ OFF) 状態からいったんキープレートを差し込んだ (アンロックウォーニングスイッチ ON) のち、抜き取ります。
- ② ①の操作終了後、15秒以内に運転席ドアコントロールスイッチ (マニュアル作動用) を5回ロック-アンロックし、さらに15秒以内に運転席ドアをいったん閉めた (運転席カーテシランプスイッチ OFF) のち、開き (運転席カーテシランプスイッチ ON) ます。
- ③ ②の操作終了後、15秒以内にドアコントロールスイッチ (マニュアル作動用) を5回ロック-アンロックします。

④③の操作終了後、15秒以内にキープレートにイグニッションキーシリンダーに差し込み（アンロックウォーニングスイッチ ON）、イグニッションスイッチをON-OFFしてモードの選択をします。

イグニッションスイッチのON-OFFを1回行くと追加モード、2回行くと書き換えモード、3回行くと確認モードとなります。

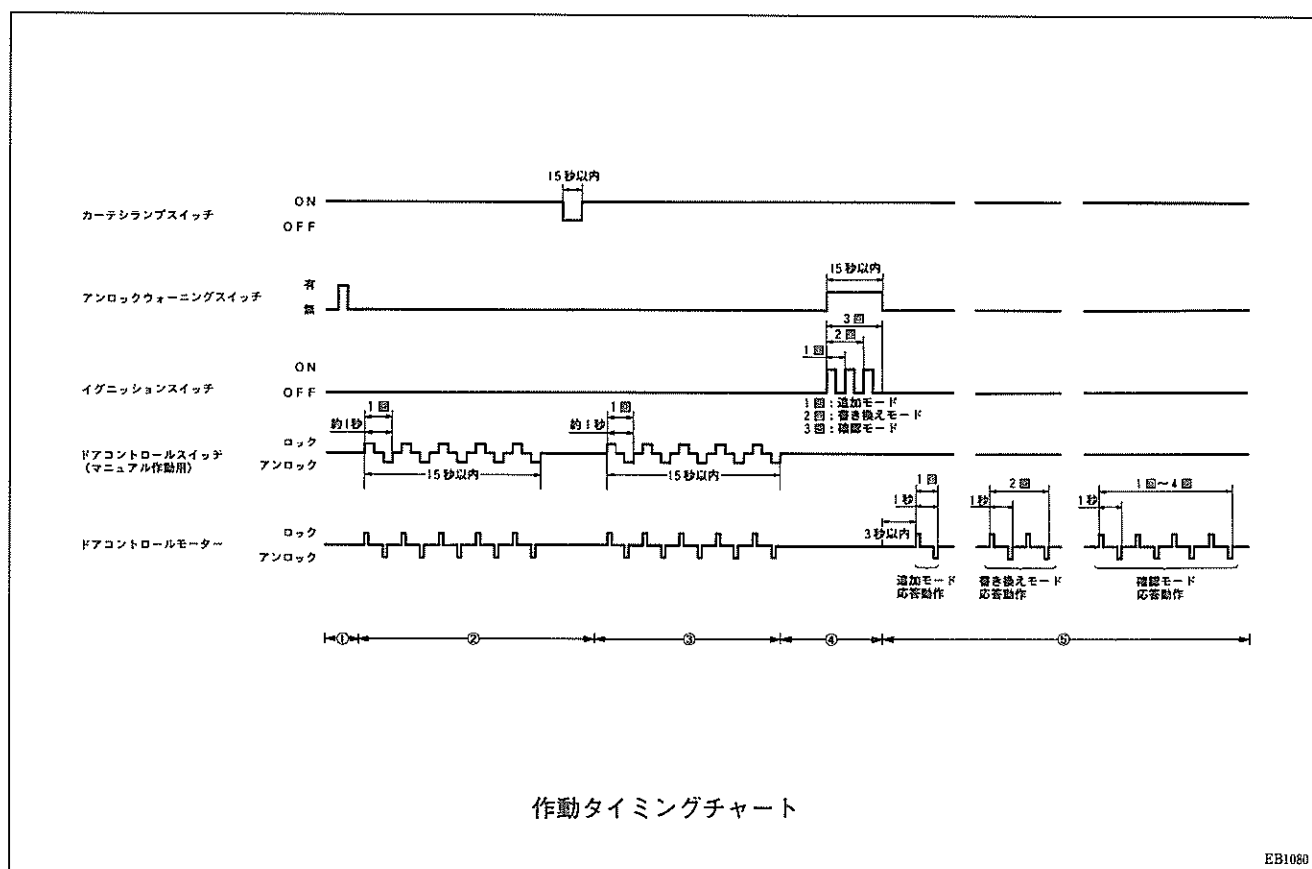
⑤モード選択終了後、キープレートを抜く（アンロックウォーニングスイッチ OFF）と3秒以内に自動的にロッカーアンロックをする登録モード応答動作が行われます。

登録モード応答動作は次のように行われます。

追加モード：ロッカーアンロック作動を自動的に1秒周期で1回行います。

書き換えモード：ロッカーアンロック作動を自動的に1秒周期で2回行います。

確認モード：ロッカーアンロック作動を自動的に2秒周期で登録コード数（1回から4回）だけ行います。



⑥⑤の操作終了後、15秒以内にトランスミッターを1秒以上押します。

⑦⑥の操作終了後、3秒以内に自動的にロッカーアンロックする識別コード受信応答動作が行われますが、トランスミッターからの電波を受信した場合のみ自動的にロッカーアンロックを行い、電波を受信しなかった場合には何も応答しません。次に15秒以内に運転席ドアをいったん閉めた（運転席カーテシランプスイッチ OFF）のち、開いて（運転席カーテシランプスイッチ ON）再びトランスミッターを1秒以上押します。

⑧⑦の操作終了後、3秒以内に自動的にロッカーアンロックをする登録完了および登録不可能応答動作が行われ、登録終了となります。

登録完了および登録不可能動作は次のように行われます。

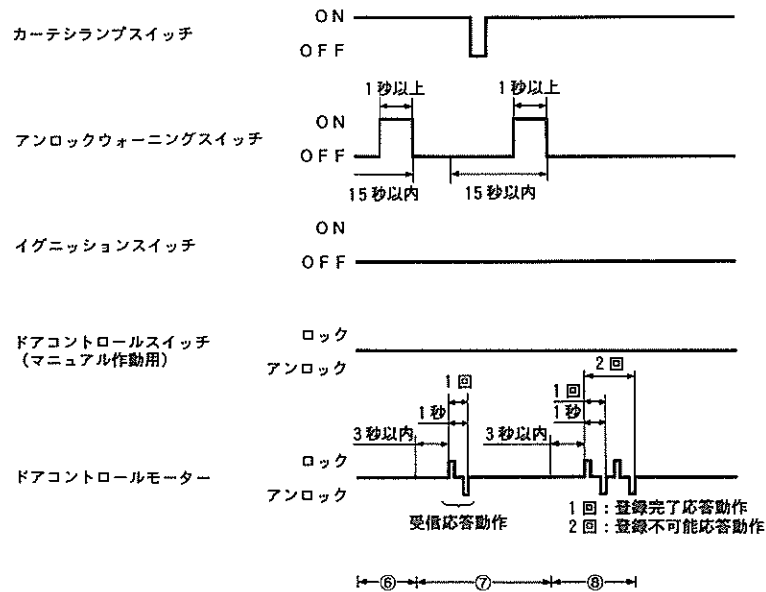
登録完了動作：ロッカーアンロック作動を自動的に1秒周期で1回行います。

登録不可能動作：ロッカーアンロック作動を自動的に1秒周期で2回行います。なお、登録不可能動作とは、1回目と2回目の受信コードが一致しなかった場合および送信した識別コードが既に登録されている場合です。

⑨⑩の動作終了後、以下の終了条件を1つでも満たせば通常作動に戻ります。

1. 登録完了および登録不可能応答動作終了後15秒経過した場合。
2. ドアを開いた場合。
3. イグニッションキーシリンダーにキープレートを差し込んだ場合。
4. 1回の登録モードで4種類のコードを登録した場合。

なお、一連の登録手順において誤操作した場合は通常作動に戻ります。



作動タイミングチャート

EB1081

MEMO